



サクラ・はうす



さわやか5月の風

No.176 2020年5月25日

今年のゴールデンウィークは、本当にさわやかなお天気に恵まれた連休でした。しかし、新型コロナウイルスによる自粛で、日本中がひっそりとした、心に不安を持つ日々となりました。新学期が始まって次の日からの休校。4、5月と長い2か月に及ぶ日々、子どもたちはどうしているかと心配しています。そして一日も早く子どもたちに会いたいなども。

3月2日から5月12日までサクラはうすは朝からの保育をしてきました。5月13日からは、学校の一時預かり後の保育になりました。4月は20人前後、5月は10人前後の、どうしてもご家庭に保育していただける方がいられないお子さんをお預かりしてきました。

そしてやっと6月からは子どもたちが待ちこがれている学校が始まります。ただ、まだまだ普通の生活に戻ったわけではありません、子どもたち始めみんなが注意すべきことを守り日々過ごしていきたいと思えます。

6月のサクラはうすの対応は、別紙5月22日付け平塚市の方針に従って、保育時間を下記のように、少し短縮して進めさせていただきます。

学校が密にならぬよう分散しているように、学童も密にならないように・・・学校が通常に戻るまでは、別紙 2 利用対象者をお読みくださいます、ご協力をお願いいたします。
また4、5月の自粛による保育料については平塚市より8月下旬に返金されます。

記

1、6月1日～26日まで、開所時間8：00～18：00

6月29日以降 学校終了時間～19：00

土曜日8：00～16：00 ただし人数が少ない時には閉所します。

2、サクラはうすの夏休み閉所は、年度当初お知らせしたように、8月8日～16日とさせていただきます。

3、6月に予定していた田植え体験は、今年度は、中止とさせていただきます

子育て、頑張ったね、えらいね



子どもたちがおやつを食べるベランダの横にリンゴの木があります。夏休み工作教室で先生が作った巣箱を置きました。4月シジュウカラが、卵を産みました。ベランダで子供たちが遊んでいても、お父さんお母さんはせっせと餌を運んで。なかではピイピイとかわい声が。カラスが、巣箱をつつきましたが、無事。5月、なんと9匹のひなは、巣立っていきました。

田植え体験

サクラはうすのおやつで食べているお米は、重田誠一様の田んぼで取れたお米を分けていただいております。いつも精米したての美味しいお米です。今年もその田んぼの一角をお借りして、教えていただきながら、田植えを体験させていただくことになりました。小学校でも高学年になるとバケツ稲や、実際に田んぼで苗植え、稲刈りをするところもあります。どろんこの田んぼに入って苗を植える、その苗から何日もかかって、沢山の手間をかけてお米が出来る、その過程を見せる、肌で感じさせる・・・実際に田んぼの中に入っているのは15分ぐらいですが、準備等にご協力が必要です。下記に申込書を作りましたので、体験の有無のお返事と下記の準備品を6月7日までにご提出下さい。

- ※ 汚れてもいい T シャツ・半ズボン・靴下(安全のために、はいて田んぼに入ります、どろどろになりますので履き古したもので。また田んぼの中で脱げてしまうので、長めのものをお願いします)・タオルを、名前の書いたスーパーの袋に入れて持たせてください
- ※ 天候などにより日程はかわることもありますが、今年は6月 12日、予備として 14日の予定です。
- ※3年生の塾は田植えのあった日にはお休みとなりますのでお迎えは第2サクラはうすのほうへお願いいたします。



----- きりとりせん -----

児童名：

保護者名：

田植え体験に 1. 参加 2. 不参加

(どちらかに○をつけて下さい)

※田植えは、子ども達と職員で行います。お迎えは5：15以降にお願いします。